

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月9日

上場取引所 大

上場会社名 北雄ラッキー株式会社
 コード番号 2747 URL <http://www.hokuyu-lucky.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 川端 敏
 (氏名) 桐生 宇優

TEL 011-558-7000

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	10,540	△0.7	29	△35.6	11	△40.4	3	—
25年2月期第1四半期	10,617	△0.6	45	△31.1	20	△42.0	△48	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	0.50	—
25年2月期第1四半期	△7.73	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	18,918	4,213	22.3	666.29
25年2月期	18,515	4,261	23.0	673.89

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 4,213百万円 25年2月期 4,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,460	△0.5	204	△7.8	154	△10.3	80	60.8	12.65
通期	43,650	1.1	482	△4.0	420	2.2	210	13.2	33.21

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期1Q	6,323,201 株	25年2月期	6,323,201 株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	— 株	25年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期1Q	6,323,201 株	25年2月期1Q	6,323,201 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間(平成25年3月1日～平成25年5月31日)におけるわが国経済は、デフレ脱却の実現や成長促進を図る「アベノミクス」への期待によって円安・株高が進行し、企業収益や一部の個人消費に回復傾向がみられたものの、国内の実体経済に勢いは感じられず、また海外景気の下振れ不安や円安の影響による原材料価格の上昇など、国内景気を下押しするリスクが存在することから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、少子高齢化及び人口減少を背景に市場が縮小していくなか、消費者の節約志向・低価格志向が進む一方で、経営統合や再編による寡占化も加速するなど、増税問題及び食の安全性問題を含めてスーパーマーケットの経営環境は厳しさを増しております。

このような状況のなか、当社におきましては、「おいしいものを食べたい、豊かな食生活を楽しまたい」というお客様の期待にお応えするべく、「食生活提案型スーパーマーケット」の構築を目指してまいりました。そのために、「鮮度」「品質」の徹底と「おいしさ」の追求、地域の需要に対応したきめの細かい品揃えの実現、急速に進む高齢化による簡便・即食・個食といった需要への対応、また料理をしなくなった家庭の増加に対して、料理の楽しさや日本の伝統的な食文化継承のための提案をどのように行うのが、これからの課題であると考えております。

具体的な政策といたしましては、「ストアロイヤリティの向上」として、ラッキーヘビーユーザーとのつながりをより強固なものとする施策とともに、接客の向上及び清潔で鮮度を維持した売場の継続によって、お客様との信頼関係の構築を図ってまいりました。

商品政策においては、当社が推奨するナチュラルラッキーとテイスティラッキーの商品選定のフィルターを強化し、より厳選された新規商品の開発に努め、一方では「近郊野菜」や「地元銘菓」など地産・地消を強化し、地域需要に対応した品揃えの再構築を行い、北海道でNO.1の商品力の確立を目指してまいりました。

店舗運営においては、「ローコスト経営」を最重要課題として、「人件費率削減」を具体的に目標を定めて、時間帯投下人数の標準化、作業時間の平準化及び各センターの最大活用による生産性の向上に取り組んでまいりました。また、電気料金の値上げに対しては、積極的なLED照明、省エネ機器の導入及びデマンド監視装置の活用による使用電力の適正管理によって、電気料金の抑制に努めてまいりました。

当第1四半期累計期間におきましては、昨年8月31日付で閉店したTSUTAYA 篠路店(FC店)の売上減少に加えて、春先の低温・天候不順が続いたことから、既存店売上高も前年同期比99.5%となり、売上高は前年同四半期と比較し減少となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高10,540,675千円(前年同期比99.3%)、経常利益11,992千円(同59.6%)、四半期純利益3,169千円(前年同期は四半期純損失48,897千円)となりました。

なお、当第1四半期累計期間における新設・閉鎖店舗はなく、平成25年3月に遠軽店、同年5月に星置駅前店を改装し、同年6月には、本社・土地の売却の為、本社を星置駅前店に移転しております。

平成25年5月31日現在の店舗数は、34店舗であります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較し403,701千円増加し18,918,914千円となりました。

その主な要因は、流動資産において未収入金の減少が110,527千円であったものの、現金及び預金の増加が101,588千円、固定資産において建物の増加が107,610千円、リース資産の増加が97,429千円であったことなどによるものであります。

② 負債

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較し451,783千円増加し14,705,847千円となりました。

その主な要因は、流動負債において短期借入金が799,125千円減少したものの、支払手形及び買掛金の増加が416,024千円、賞与引当金の増加が109,761千円、長期借入金の増加が流動負債及び固定負債で合わせて551,724千円であったことなどによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較し48,082千円減少し4,213,066千円となりました。

その主な要因は、その他有価証券評価差額金が11,980千円増加したものの、株主配当63,232千円を実施したことなどにより利益剰余金が60,062千円減少した結果であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く経営環境は、急速な消費回復は当面望めないことから、今後も引続き厳しい状況が続くものと予想しております。

第1四半期業績につきましては、記載のとおり厳しい結果とはなりましたが、今後とも販売促進の強化、人的効率のアップ、徹底したコストの削減を継続し、売上と利益の確保に努めてまいります。

なお、当社の業績予想につきましては、現時点において平成25年4月12日決算短信にて公表いたしました数値から変更はありません。今後、変更がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,211,254	1,312,843
受取手形及び売掛金	259,199	322,986
商品及び製品	1,642,205	1,711,100
原材料及び貯蔵品	40,037	107,240
前払費用	143,331	138,249
繰延税金資産	71,622	105,325
未収入金	378,955	268,427
その他	6,502	5,401
貸倒引当金	△540	△540
流動資産合計	3,752,568	3,971,035
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,262,545	9,426,915
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,831,817	△5,888,576
建物(純額)	3,430,728	3,538,338
構築物	572,890	577,280
減価償却累計額及び減損損失累計額	△450,655	△453,733
構築物(純額)	122,235	123,547
車両運搬具	10,322	10,322
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,034	△10,071
車両運搬具(純額)	287	250
工具、器具及び備品	466,681	462,903
減価償却累計額及び減損損失累計額	△435,671	△427,459
工具、器具及び備品(純額)	31,009	35,443
土地	7,636,809	7,636,809
リース資産	1,258,290	1,359,131
減価償却累計額及び減損損失累計額	△749,046	△752,458
リース資産(純額)	509,243	606,672
建設仮勘定	2,026	2,026
有形固定資産合計	11,732,341	11,943,088
無形固定資産		
ソフトウェア	2,341	2,914
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	20,570	21,143
投資その他の資産		
投資有価証券	184,045	199,526
出資金	609	609
長期前払費用	45,735	44,612
繰延税金資産	496,795	484,057
差入保証金	2,165,096	2,161,308
保険積立金	82,673	60,505
投資その他の資産合計	2,974,955	2,950,620
固定資産合計	14,727,867	14,914,852
繰延資産		
社債発行費	34,776	33,026
繰延資産合計	34,776	33,026
資産合計	18,515,212	18,918,914

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成25年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,711,415	3,127,440
1年内償還予定の社債	260,000	260,000
短期借入金	2,782,030	1,982,905
1年内返済予定の長期借入金	1,200,305	1,029,832
リース債務	219,016	238,294
未払金	275,869	370,001
未払費用	264,295	315,024
未払法人税等	71,272	37,465
未払消費税等	55,104	59,249
前受金	66,582	66,840
預り金	82,833	84,905
賞与引当金	114,803	224,564
流動負債合計	8,103,527	7,796,523
固定負債		
社債	1,740,000	1,710,000
長期借入金	2,510,909	3,233,107
リース債務	359,472	440,327
退職給付引当金	900,189	898,882
役員退職慰労引当金	244,705	232,763
長期預り保証金	349,117	347,653
資産除去債務	45,247	45,417
その他	894	1,171
固定負債合計	6,150,535	6,909,323
負債合計	14,254,063	14,705,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	795,818	735,756
利益剰余金合計	3,260,818	3,200,756
株主資本合計	4,253,842	4,193,780
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,306	19,286
評価・換算差額等合計	7,306	19,286
純資産合計	4,261,148	4,213,066
負債純資産合計	18,515,212	18,918,914

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	10,617,852	10,540,675
売上原価	8,005,334	7,956,900
売上総利益	2,612,517	2,583,774
営業収入		
不動産賃貸収入	74,264	71,482
運送収入	202,434	189,189
営業収入合計	276,698	260,672
営業総利益	2,889,216	2,844,446
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	131,513	123,847
配送費	166,261	164,045
販売手数料	138,617	173,790
給料及び手当	496,659	491,416
賞与引当金繰入額	102,988	109,761
退職給付費用	28,666	29,058
役員退職慰労引当金繰入額	2,137	2,478
雑給	627,741	609,783
水道光熱費	199,153	199,475
減価償却費	131,585	129,934
地代家賃	239,531	237,070
その他	578,591	544,291
販売費及び一般管理費合計	2,843,447	2,814,955
営業利益	45,769	29,491
営業外収益		
受取利息	3,340	3,228
受取配当金	3,424	3,644
債務勘定整理益	342	226
受取補償金	—	11,690
雑収入	12,566	11,434
営業外収益合計	19,673	30,224
営業外費用		
支払利息	42,503	36,230
社債発行費償却	2,190	1,749
雑損失	625	9,743
営業外費用合計	45,319	47,723
経常利益	20,124	11,992
特別損失		
減損損失	—	1,562
投資有価証券評価損	37,199	—
固定資産除売却損	18,175	700
特別損失合計	55,374	2,263
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△35,250	9,729
法人税、住民税及び事業税	28,469	31,025
法人税等調整額	△14,822	△24,465
法人税等合計	13,646	6,559
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△48,897	3,169

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。